

登録コード	MA710100	開講年度	2026				
授業科目名	看護理論					担当教員	浅野 美礼
英文授業名	Nursing Theory					副担当	新井 清美・佐藤 奈保
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	集中・不定期	対象専攻 / 学年	看護学分野共通 / 1 年次
講義室	保健学科 2 1 2 講義室		授業形態	講義	授業科目区分	(周麻酔期) 選択必修科目	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素						
	MS 2 6 カリ(保健学), MS 2 5 カリ(保健学), MS 2 4 カリ(保健学), MS 2 3 カリ(保健学)						
	【保健学】保健・医療・福祉の実践現場で他の分野と連携して新たな保健医療改革に貢献できる能力を有する。					看護保健医療の知見に基づいた高度な倫理性を持ち、事例分析に援用できる看護研究の概念枠組みの構築に資するさまざまな看護理論について理解できる。	
(2)授業の概要	本講は、看護実践や研究の基盤となる看護理論の歴史的変遷と、諸理論の発展的成り立ちを概観します。看護実践における現象と照らし合わせて、看護理論の意義と限界を考察し、より質の高い看護サービスを提供するための論理的思考を涵養することを目的とします。本講義は、看護理論の教育と臨床への実践を経験した教員が担当します。						
(3)達成目標（一般学習目標 G I O）	看護理論に関する基本的知識について学修し、代表的な大理論、中範囲理論、状況特定理論などの諸理論について理解を深め、看護理論の適用とその限界について考察する。						
(4)達成目標（個別行動目標 S B O s）	1.看護理論の変遷、発展過程について説明できるようになる。 2.看護理論と科学的背景との関係について説明できるようになる。 3.代表的な看護理論の哲学的背景や理論の構成概念、理論の特性について説明できるようになる。 4.看護理論の、看護実践、教育、研究への適用とその利点、限界について説明できるようになる。その際、各自の関心領域と現象に理論を適用して説明できるようになる。						
(5)授業計画	開講日は受講学生との検討の上決定します。 第1回 オリエンテーション、看護学における看護理論(浅野) 第2回 理論の構成要素と看護理論の分類 (浅野) 第3回 理論の評価と理論開発 (浅野) 第4回 看護理論の歴史的変遷と発展過程 (浅野) 第5回 看護理論と倫理 (浅野) 第6回 看護理論の中心概念としてのケアリングと実践 (浅野) 第7回 F. ナイチンゲールの看護論 (浅野) 第8回 H. ペプロウの看護論 (浅野) 第9回 V. ヘンダーソンの看護論 (浅野) 第10回 オレム看護論 (浅野) 第11回 ヘルスプロモーションとプリシード・プロシードモデル (浅野) 第12回～第15回 中範囲理論（学生が選択した看護理論）(浅野) * 内容の順番は前後する可能性がある。						
(6)授業の進め方	第2回以降、事前に示された課題について発表の担当者を決め、発表者にはその成果をプレゼンテーションしてもらいます。その内容について相互のディスカッションをすることにより進めます。						
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	【事前学習】 配布資料を作成し、プレゼンテーションの準備を行う。 【事後学習】 各授業について課題がある箇所について自己学習し、説明可能であるようにする。						
(8)成績評価の方法	担当回のプレゼンテーションの内容70%、毎回のディスカッションの内容（積極性を含む）30%により評価します。						
(9)成績評価の基準	90-100点秀、80-89点優、70-79点良、60-69点可、60点未満不可とする。 プレゼンテーション 内容の適切性（15点）：指定課題の内容にそって十分な情報と分析が行われており、適切に内容がまとめられている。 構成の適切性（15点）：論理的に構成され、情報・分析と自己の考えが明確である。 資料の適切性（15点）：理解しやすく適切な表現で、図表等を効果的に用いている。 発表姿勢の適切性（15点）：視線や声量、話すスピードが適切で一貫性のある態度である。 質問への応答（10点）：質問に適切にこたえ、自身の不明点を適切に伝えることができている。 ディスカッションの参加度 論理性（10点）：論理的なディスカッションができる 主体性・積極性（10点）：主体的・積極的に参加する。 協働性（10点）：他者の意見をよく聴き、相互に有効なディスカッションにできる。						
(10)学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	看護理論について広く学びますが、各自の実践領域での具体的な事象への適用性や限界を説明できるように準備してください。 内容や順番については受講生と検討して決めていきます。 質問には随時対応します。事前にメールで連絡してください。						

(10)学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	保健学科中校舎4階 浅野研究室 millet@shinshu-u.ac.jp
【テキスト，教材，参考書】	適宜、紹介します。